かさまつの子

笠松町道徳教育連絡会議

ともに楽しんだ　祖父母参観

すばらしい音楽を聴いたよ！

十月六日、秋晴れのもと、各学級での授業参観を終えた祖父母の皆さんと子どもたちが講堂に集まりました。ともに楽しめるように、母親委員がいろいろな企画を考えましたが、今年は「コンサートグループ　もね」のお二人のヴァイオリンとピアノによるミニコンサートでした。確かな技術と豊かな音楽性を持つお二人の演奏に、会場は水を打ったような静けさのなか、すばらしい演奏に耳を傾けていました。曲目は、「乙女の祈り」、「子犬のワルツ」、「朝の挨拶」、「革命」そして「笠松小学校校歌」などでした。

学校・家庭・地域の歌声

ヴァイオリンとピアノの演奏のあとは、ＰＴＡコーラスクラブ員二十一人と小学校の先生方五人、そして中央公民館で生涯学習講座としてコーラスに取り組んでみえる「楽しいコーラス」十一人の皆さんによる合同の混声合唱を楽しみました。

近年、子どもたちの豊かな成長のために、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、互いに連携し合うことの重要性や必要性が繰り返し強調されています。今回の歌声が、学校・家庭・地域を結ぶ一つのきっかけになればと思います。

大切に育てた小菊をどうぞ！

最後に五年生によるお土産渡しが行われました。五月二十日に去年の菊の芽を挿し芽し、その後、六月下旬ごろに鉢上げを行いました。休日や夏休み中も、五～六人の当番で朝と夕方の水やりに取り組み、小菊と気持ちを通わせて育ててきました。

こうして大切に育てた小菊を、メッセージカードを添えてお土産としてお渡ししました。祖父母の皆さんの嬉しそうな顔を見ると、母親委員もそれまでの準備の大変さが歓びに変わりました。

さて、子どもたちを取り巻く環境も少しずつ変化してきており、残念ながら、決して手放しで安全とはいえないのが現状です。そうした中で、子どもたちと祖父母の皆さんとの交流を持つことは、親とは違った視点で子どもたちを見守り、また、子どもたちの豊かな成長のためにも必要なことだと思います。

『ともに』学び合い、気付き合い、認め合い、育ち合う…を目標に私たち笠松小学校ＰＴＡは、今後も活動を続けていきます。

笠松小学校ＰＴＡ
会長　箕浦　良信

教育委員会だより

―「学校評議員会」ご存じですか？―

学校には「学校評議員会」という会が設置されています。その学校の職員以外のかたで、教育に関する理解および識見を有するかたの中から、数名学校評議員になっていただいています。

学校評議員は、校長の求めに応じて学校運営に関して意見を述べることができ、そのことによって

一、保護者や地域のかたの考えや思いを把握し、学校運営に生かす。

二、保護者や地域のかたの協力を得る。

三、学校としての説明責任を果たす。

ことが大きな目的となっています。

評議員会は、年に二～三回開催され、学校の現状を説明するとともに授業などを参観していただき、経営の方針・児童生徒の姿について意見や提言をいただいています。さらに教育の成果について評価をいただき、教育活動に生かす取り組みを始めている学校もあります。

さて、広報でこのような話をさせていただいたのは、次のような思いがあったからです。

一、児童生徒の育成には学校・家庭・地域社会の連携と役割分担が大切である。

学校評議員のかただけでなく皆さんにも地域の学校と親密になっていただき子どもの育成に関わっていただけるとうれしい。

二、学校が外部からの意見・提言・評価などを受け、よりよい学校運営の在り方を探り実践しようと努力していることをご理解いただき、さらに開かれ、地域に根付いた学校になれるような意見・提言をいただきたい。

などです。

「非行・不登校問題」、「地域行事などへの参加・参画」、「総合的な学習の時間での地域学習」、「特色のある学校づくり」など、学校の課題はたくさんあります。よりよい学校づくりのために皆さんの知恵と力をお貸しください。

教育電話相談

～悩んだら気楽に電話してください～

郡四町教育委員会

☎２４５・１１３３